

## 71期生 進路だより No. 35

『<sup>あせ</sup>焦らず <sup>おこた</sup>休まず <sup>おこた</sup>怠らず』

## 進路を決める！

いよいよ来週の月曜日から保護者懇談会が始まります。今回の懇談は、君たち71期生一人一人の進路を具体的に決める話し合いになります。

進学するのか就職するのか。進学なら私学を受験するのか、しないのか。受験するのなら専願か併願か。公立は特別選抜を受けるのか。それとも一般選抜が第一志望なのか。

専願、併願にかかわらず私学を受験する人は、今回の懇談で受験校を決定することになります。自分の夢、就きたい職業、今の自分の学力、家庭の状況、様々な事を考えて、志望校を決定してください。

## 自分と真剣に向き合うこと！

テストの点や学校の成績は志望校を決める重要な資料です。だから、担任の先生はそうした資料に基づいて志望校の決定のアドバイスをすることになります。でも、「僕（私）の成績は〇〇だから△△高校」という風に簡単に進路を決めていいのでしょうか？

進路を決める時大事なことは、自分の将来の夢を実現するための道筋を見つけることです。自分の将来の夢を実現するためにはどういう進路を選ぶのがいいのか、そのためには何が 필요한のか、自分に何が足りないのかをしっかりと意識することです。将来の夢がまだ定まらない人は、自分の夢が具体的にきたときに、その夢を実現するための土台（基礎）を作っておくにはどうしたらいいかを考えておかなければなりません。

どんな人にも、自分の夢（理想）と現実（今の成績）の間には差があります。だからこそ自分の夢を実現するために何が足りないのかをしっかりと見つめること。言い換えれば、自分と真剣に向き合うこと。そのことが進路について考えるときに一番大事な事です。

## そして行動（勉強）！

夢と現実の隙間（すきま）を埋め、自分の夢を実現するために必要なことは、いうまでもなく行動することです。今の君たちにとって必要な事は、月並みな言葉かもしれないですが、必死で勉強することです。

いま、この瞬間から本気になること！

最後まであきらめないこと！

志望校を決めたら、

絶対合格するという強い思いを持つこと！

努力することから逃げるな！  
焦らず 休まず 怠らず  
先生たちの切なる思いです。

## ちょっと気になること！

11月の懇談時にちょっと気になることを耳にしました。

1. 「〇〇さんが××高校だから私も」という人。逆に「あの人が△△高校志望だから私は嫌です」という人。  
進路は友人関係で決めるものではありません。自分がどの学校に行きたいか、何を学ぶかが大事なのです。それに進学すると新しい友人関係もできます。中学時代の固定した友達関係から進路の事を決めないでください。新たな出会いを求めて自分の進路を決定してください。
2. 「先生、A高校は合格できる？B高校は？C高校は？」  
志望校を決めるという事は、スーパーマーケットで商品を選ぶ事とはまったく違います。予算（学力）にあう商品（高校）をあれこれと探すことを進路選択ということではできません。  
その高校が自分が本当にいきたい高校ならいいのですが、通学するのに2時間以上もかかる高校をあげて、担任の先生に可否の可能性を聞く人がいます。ただ思いつきでいろいろな高校名をあげるのはい意味がないし、貴重な懇談の時間を無駄にすることになります。
3. まだ自分の進路について明確な意志を持っていない人！  
「高校？行けたら行くし、ダメやったら働く」  
この期に及んでちょっと情けないですね。こんな気持ちだったら、例え進学したとしても進級できずに留年・退学になってしまいますよ。まして、学校で勉強することより何倍も厳しい「働く」ことなんてできるわけがありません。

## 提出物を期限までにきちんと出すこと！

何回も書きましたが、提出物は期限までにきちんと出してください。進路関係の文書は期限がきちんと決まっています。期日に遅れると受け取ってもらえません。「少しぐらい遅れてもいいだろう」なんていう甘えた気持ちを持っていると、「受験できない」「入学資格を取り消される」なんていう大変なことになります。

また、学校から配布されたプリントは必ず保護者の方に見せておくこと。

そしてもう一度裏面に、第5回学力診断テスト（1月11日実施）の範囲を載せておきます。頑張ってください。